

## 第3編

### 市民の健康状況と課題

- 松本市の人口動態の状況 ●
- 市民の健康状況 ●
- 健康づくりの課題 ●

# 第1章

## 松本市の人口動態の状況

松本市は明治40年に市制がしかれ、平成の大合併により平成22年度までに周辺1町4村が合併し、市内35地区の行政区ごとに保健事業を展開しています。

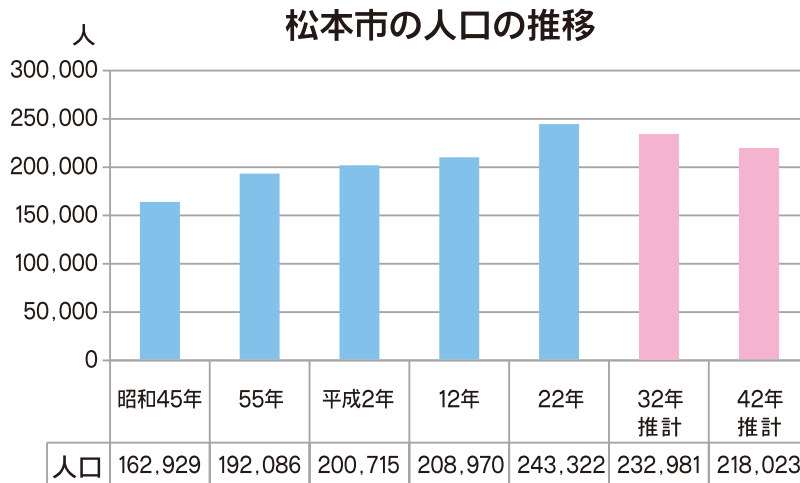
市内4か所の基幹となる保健センターを設置し、保健センターを拠点に活動を行っています。

### 1 人口動態

#### (1) 人口の推移

松本市の人口は、市町村合併等により増加傾向にあります。

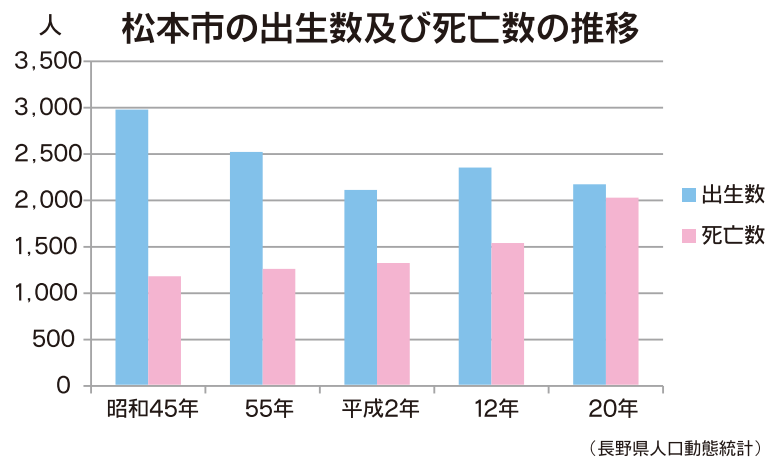
今後の推計では、現在をピークに人口は減少傾向に向かうことが予想されます。



(平成22年まで:各年10月1日現在情報政策課「住民マスター統計」  
平成32年以降:松本市総合計画推計値)

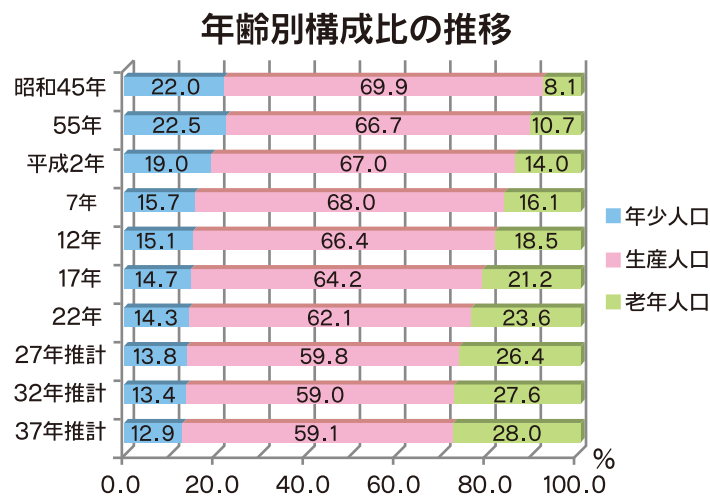
## (2) 出生数と死亡数の推移

出生数及び死亡数の推移をみると、出生数の減少及び死亡数の増加により、平成20年度は出生及び死亡数がほぼ同数となっています。



## (3) 年齢別構成比の推移

年齢別構成比は、年少人口及び生産人口が減少し、老年人口が増加し、まもなく老年人口が4人に1人を超える時代を迎えようとしています。



## 2 平均寿命及び健康寿命の状況

### (1) 平均寿命 (平成17年)

	男性(歳)	女性(歳)
全国	78.8	85.8
長野県	79.8	86.5
松本市	80.1	86.4

(厚生労働省人口動態・保健統計課)

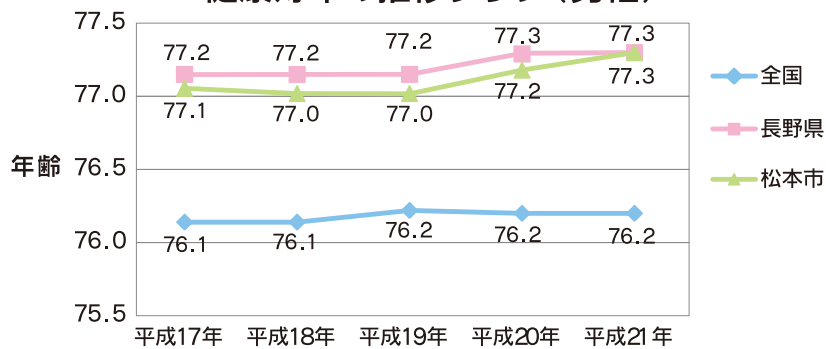
### (2) 健康寿命

健康寿命では、男女とも上昇傾向がみられています。特に男性では、長野県と同じ水準となっています。

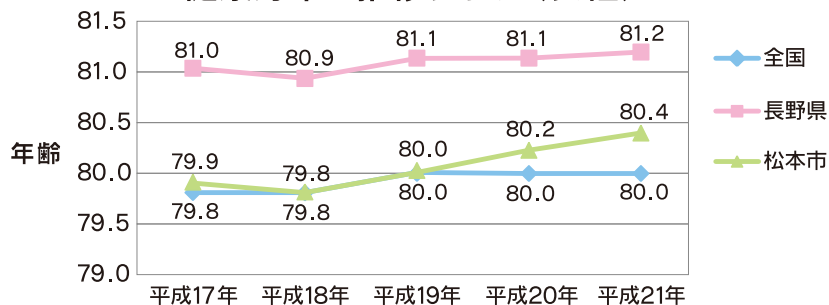
\*「健康寿命」とは、一生涯のうち、健康で自立して暮らすことのできる期間をいいます。それは、健康で明るく元気に生活し、実り豊かで満足できる生涯の期間でもあります。

「健康寿命」＝「平均寿命」－「要介護等の期間」

健康寿命の推移グラフ(男性)



健康寿命の推移グラフ(女性)

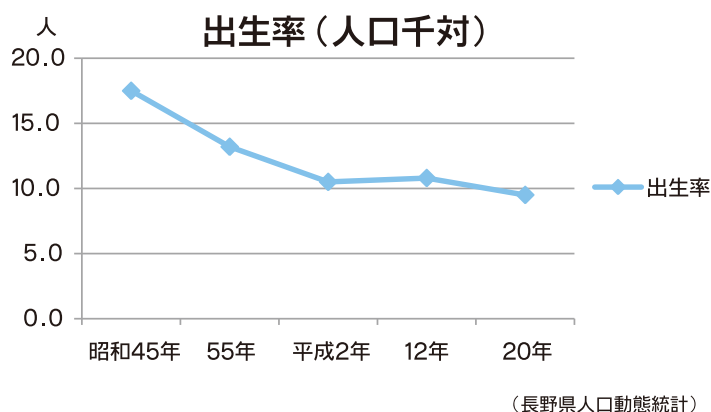


(切明義孝氏らによる「介護保険制度を利用した健康寿命計算マニュアル」により算出)

### 3 出生の状況

出生は昭和45年をピークに減少傾向にあります。

#### (1) 出生率



#### (2) 合計特殊出生率

合計特殊出生率からみると、平成15年以降やや上昇傾向にあります。国・県との比較では、国の出生率よりは高い傾向にありますが、長野県の水準よりは下回っています。

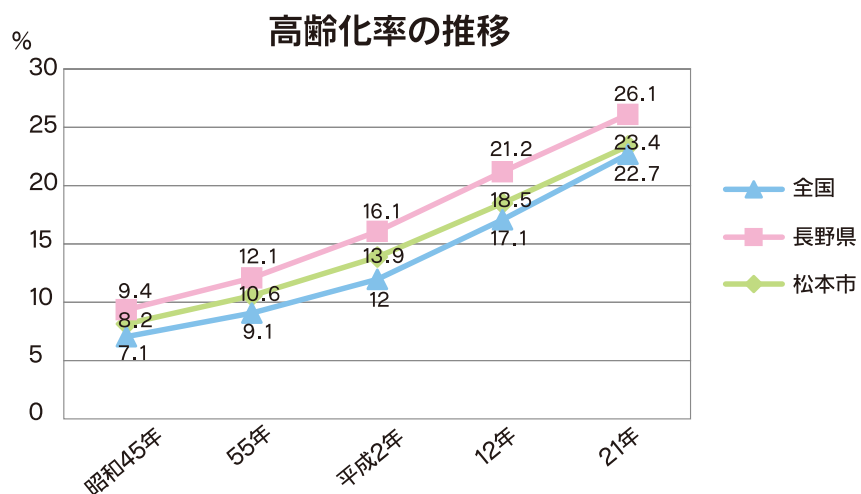
#### 合計特殊出生率(※)

	全国	長野県	松本市
平成7年	1.42	1.64	1.62
平成11年	1.34	1.52	1.53
平成15年	1.29	1.44	1.38
平成19年	1.34	1.47	1.44

(長野県人口動態統計)

※合計特殊出生率:15歳から49歳までの女子の年齢別出生率の合計で、一人の女子がその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとした時のこどもの数

## 4 高齢化の状況



(「松本市の保健衛生」各年10月1日現在)



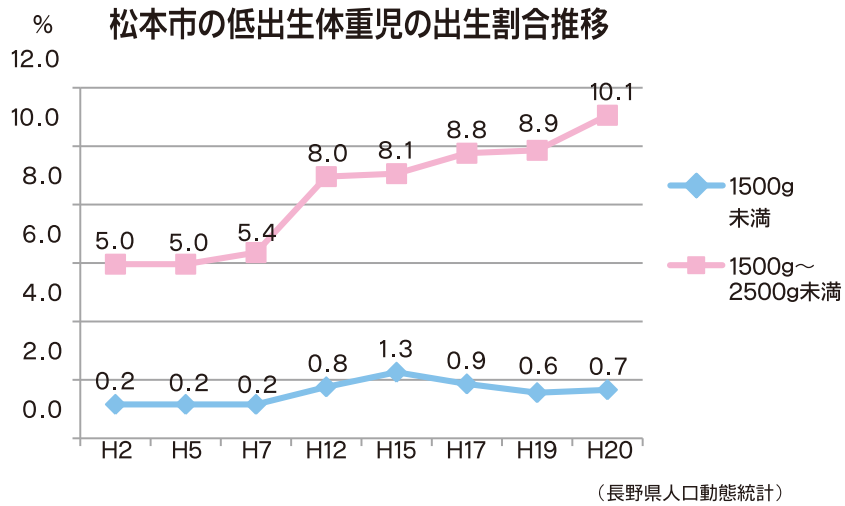
# 第2章

## 市民の健康状況

### 1 出生から児童・生徒の状況

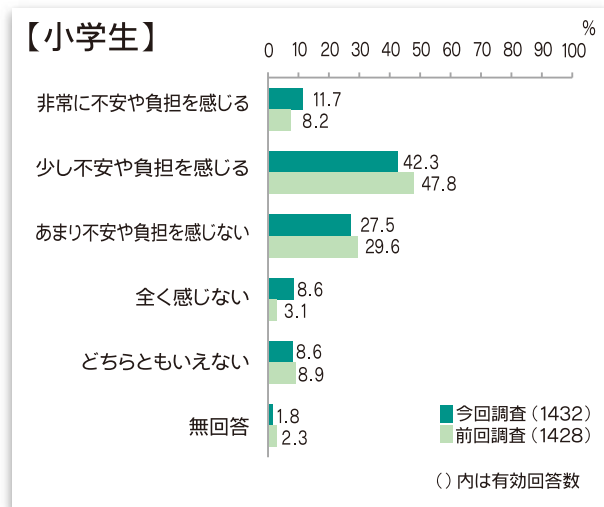
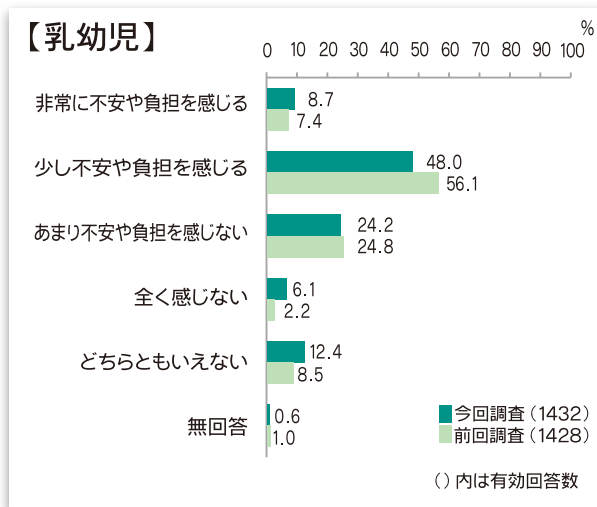
#### (1) 低出生体重児の推移

低出生体重児の出生割合は増加傾向にあり、特に1500～2500g未満の増加率が高い傾向にあります。



#### (2) 子育ての不安・負担感 (松本市次世代育成アンケート)

(前回:平成16年1月実施 今回:平成21年実施)

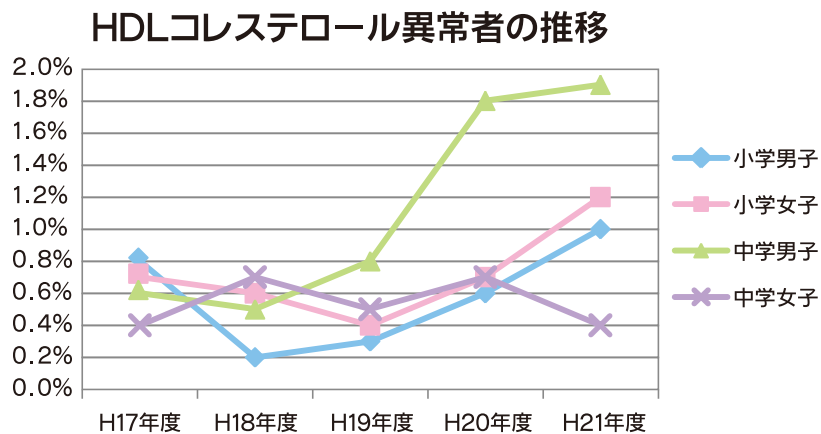


### (3) 児童・生徒の血液検査及びやせの状況

#### ア 血液検査結果（松本市小中学校児童・生徒血液検査結果から 市内全校 小学4年生及び中学2年生）

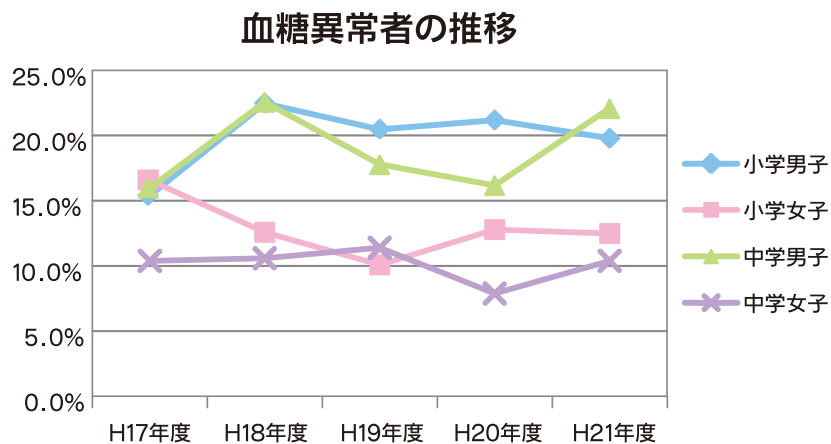
##### (ア) HDL（善玉）コレステロール低下の児童・生徒

循環器疾患の発症に影響があるHDLコレステロール低下の児童・生徒は、やや増加傾向にあります。特に中学男子の増加が目立ちます。  
（異常者：40mg/dl未満）



##### (イ) 血糖値の高い児童・生徒

血糖値の異常者は、男子で高い傾向にあります。  
（異常者：空腹時血糖100mg/dl以上）

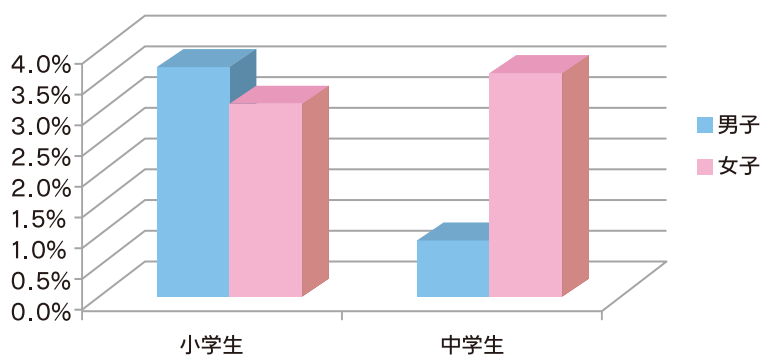




### (ウ) LDL (悪玉) コレステロールの高い児童・生徒

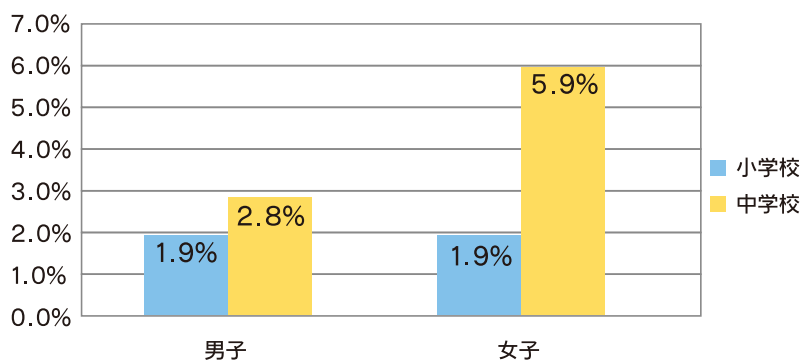
悪玉と呼ばれるLDLコレステロールでは、中学生の女子に高い傾向が見られます。(異常者:LDLコレステロール140mg/dl以上)

#### LDLコレステロール異常者の割合(平成21年)



イ 「やせ」の状況(松本市健康診断結果から 市内全児童・生徒)  
中学校女子における「やせ」の割合が高い傾向にあります。

#### やせ(肥満度-20%未満)者の割合(H21年度)

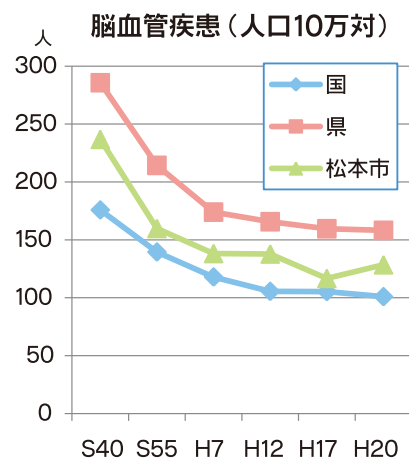
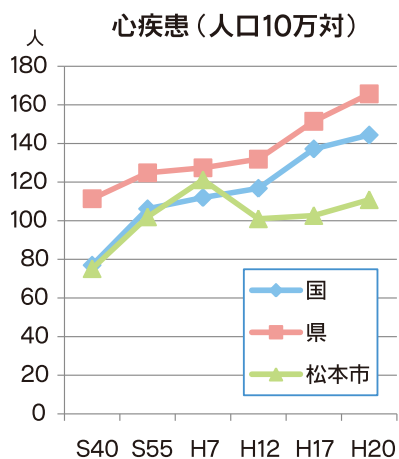
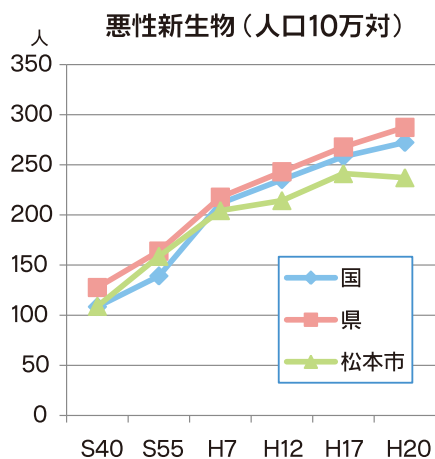


(松本市健康診断結果 平成21年)

## 2 死因別死亡の状況

### (1) 主な死因別死亡の年次比較

死因の上位を占める悪性新生物、心疾患、脳血管疾患のうち、悪性新生物、心疾患で全国及び長野県と比較して死亡率が低い状況があります。



(厚生労働省・長野県人口動態統計)

### (2) 部位別悪性新生物死亡の順位

順位	部位	死亡者数	死亡率(人口10万対)
1	気管・気管支及び肺	94人	41.4
2	胃	83	36.5
3	大腸	68	29.9
4	膵臓	44	19.4
5	肝臓	39	17.2

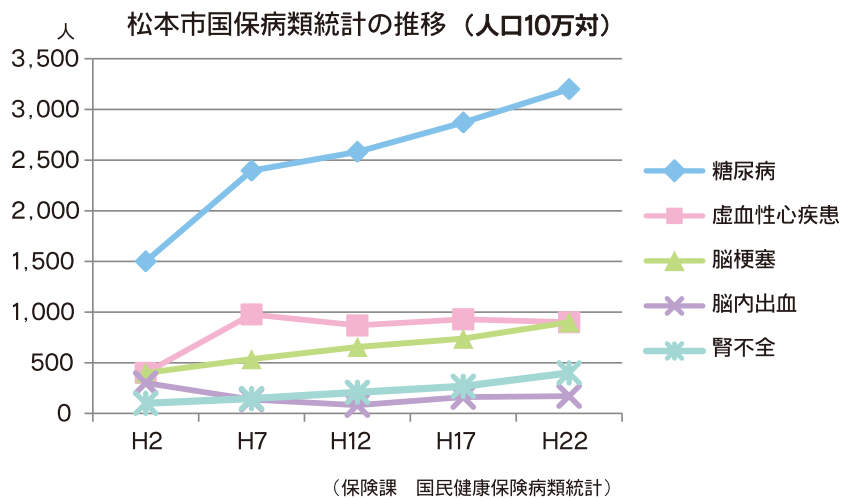
(H20長野県人口動態統計)

### ③ 松本市国民健康保険の診療状況 (毎年5月分一般・退職者医療受給者)

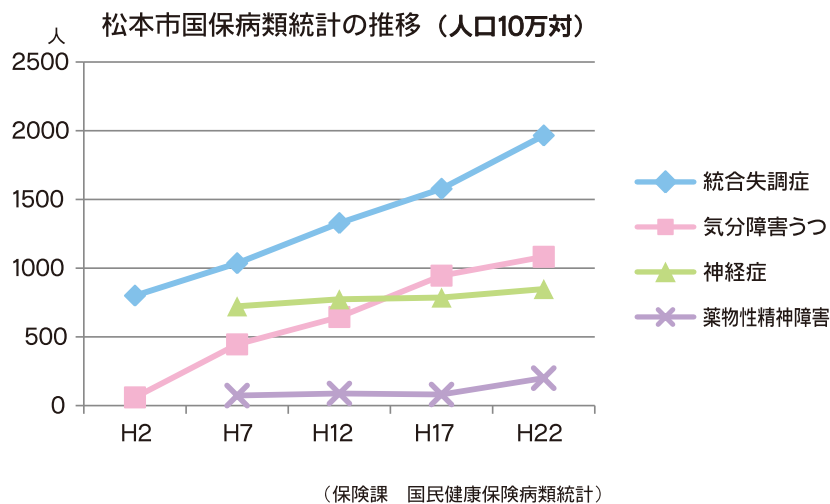
国保の病類統計では、生活習慣病に関する糖尿病の受療件数の伸びが大きい傾向にあります。

また、こころの健康に関する疾患は、全体的に受療件数の伸びが見られます。

#### (1) 生活習慣病に関する疾病の件数



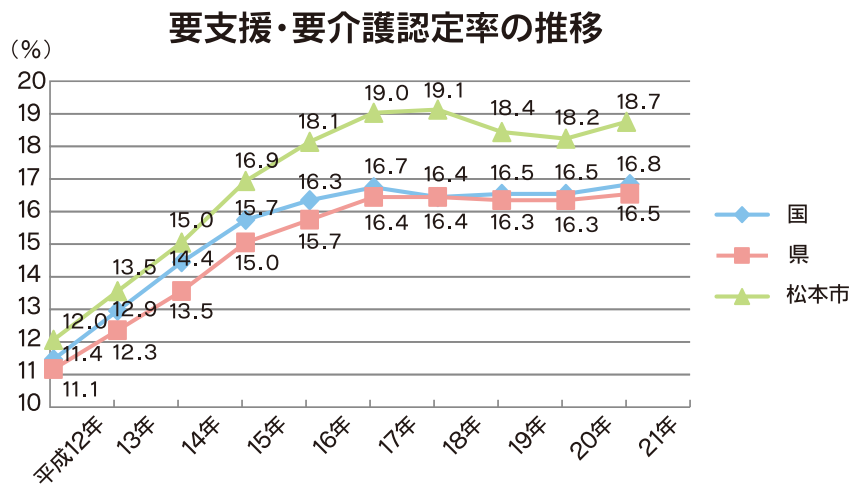
#### (2) こころの健康に関する疾病の件数



## 4 介護保険 認定状況

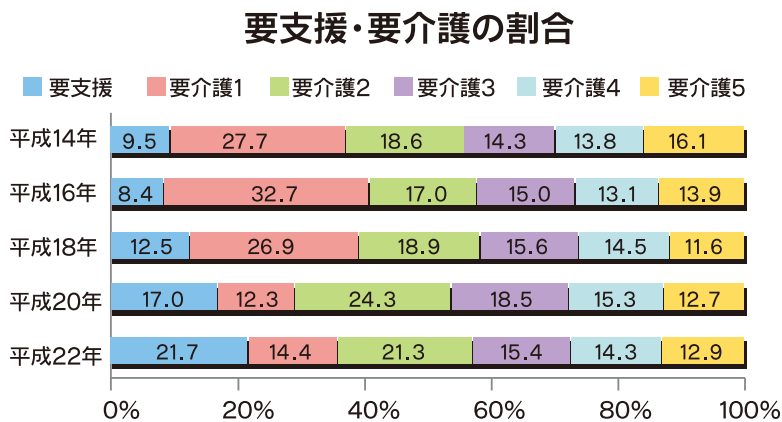
### (1) 要支援・要介護認定率の推移

高齢者に占める認定者の比率（認定率）は大きく伸びています。また、国や長野県と比べて高い状況です。



(全国・長野県:「介護保険事業状況報告」各年3月末現在  
松本市:「松本市高齢福祉課統計」各年3月末現在)

### (2) 要支援・要介護度の割合

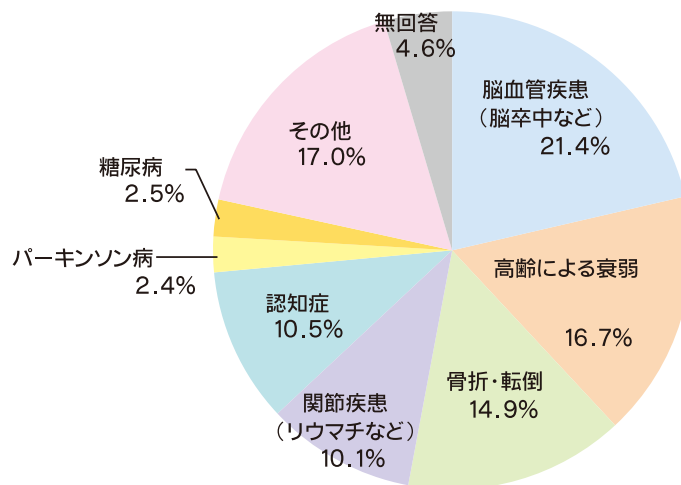


(「松本市高齢福祉課統計」各年9月30日現在)

### (3) 介護が必要になった原因

介護が必要となった原因では、第1位に脳血管疾患、第3位に骨折・転倒が上位を占めています。

介護が必要となった主な要因（平成19年）

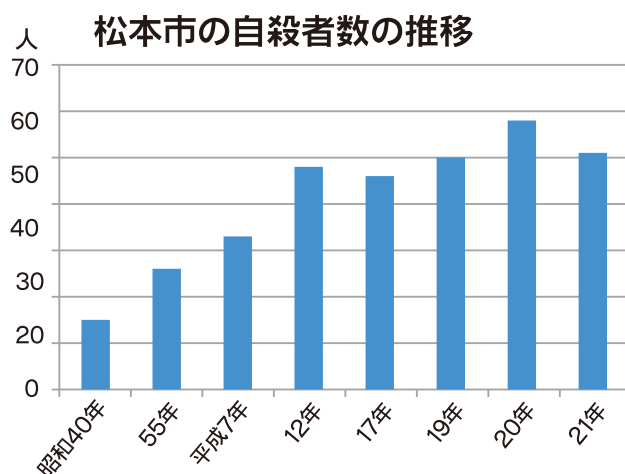


（第4次介護保険事業計画・高齢者福祉計画）



## 5 松本市の自殺者数の推移

松本市の自殺者数は、年々増加傾向にあり、約50人前後を推移しています。



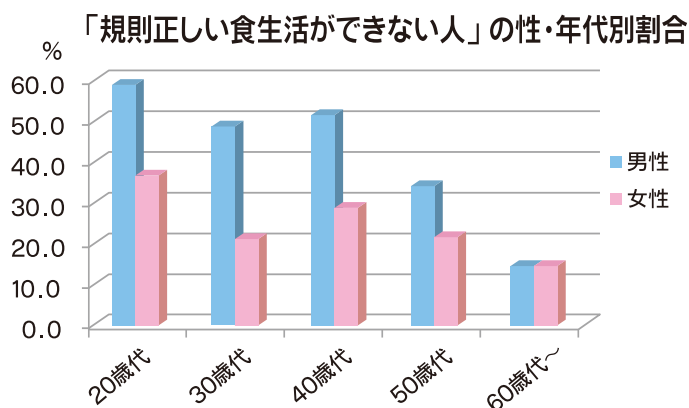
(長野県人口動態統計・21年のみ内閣府基礎データ)

## 6 健康実態調査からみた市民の状況

健康実態調査は、市民の生活習慣を把握し、「健康づくり計画スマイルライフ松本21」の基礎資料とするために、平成21年10月松本市在住の20歳以上の市民男女4,000人を対象に実施しました。

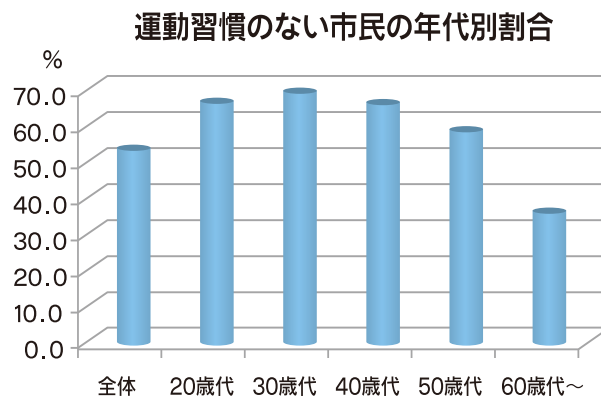
### (1) 食生活の状況

規則正しい食生活がとれない人は、働き盛りの男性の年代で多い傾向があります。



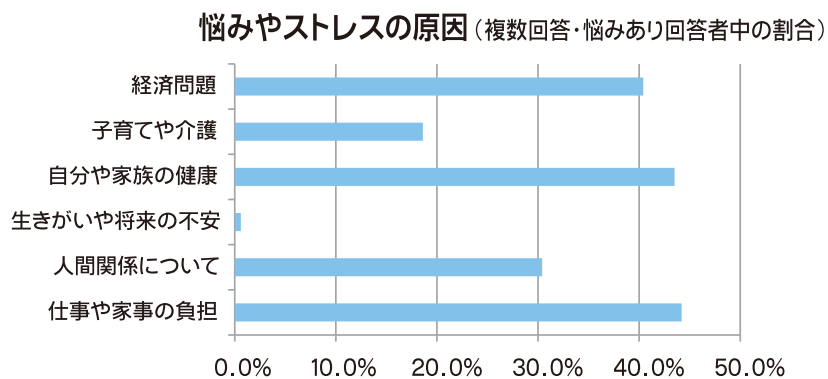
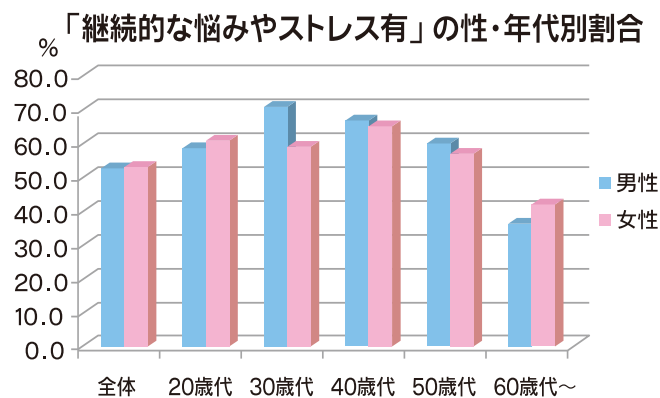
## (2) 市民の運動習慣について

運動習慣については、約半数の市民に運動習慣がありました。ただし、働き盛りの年代で運動習慣が持てない現状があります。



## (3) こころの健康について

悩みやストレスを感じる人の割合は、男女とも働き盛りの世代で高い傾向がみられます。



## 第3章

# 健康づくりの課題

- 1 超少子高齢型人口減少社会を迎え、生涯を通し健康でいる期間を長く保つ健康寿命延伸の方策の重要性が高まっています。疾病構造や死亡原因をみると、生活習慣病予防は第1期計画に引き続き重要な課題となっています。特に、適正な生活習慣を育てることものときからの支援が必要です。
- 2 健康実態調査からも明らかなように、生活様式の多様化やストレスの増加などにより、心身ともに生活習慣が適正に保ちにくい現状にあります。特に働き盛り世代への生活習慣の改善や、こころの健康を保つための方策が必要です。
- 3 健康づくりを継続していくためには、地域社会全体で支援していく環境づくりが大切です。地域づくりや環境整備の両面から健康づくりを支援する総合的なまちづくりを推進していくことが必要です。
- 4 様々な機関や地域で健康づくり活動が行われていますが、市民へその情報が伝わりにくい現状があります。  
市民の健康づくりの実践を支援するため、気軽に簡単に情報が入手できる体制づくりが必要です。

